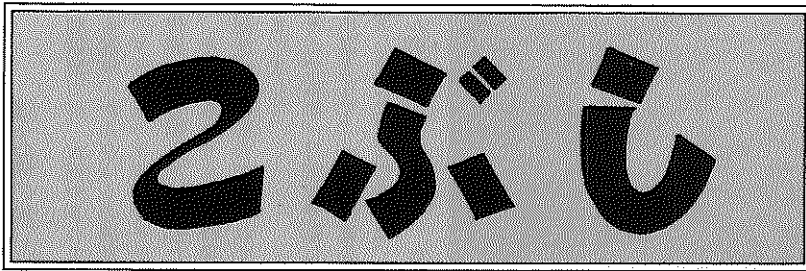


国際障害者年スローガン

「完全参加と平等」



こぶし作業所後援会ニュース

編集発行
〒321 宇都宮市柳田町1401番地
こぶし作業所
☎0286 (62) 1911
〒320 宇都宮市清住3丁目1番14号
(藤田法律事務所内)
こぶし作業所後援会事務局
☎0286 (25) 3266

けやき作業所工事着工せまる

建設工事費は五千八百万円

開所後運営は大きくたくましく

けやき作業所(こぶし作業所芳賀分場)の建設がいよいよ現実のものになって参りました。去る四月八日、国庫補助金、県費補助金決定の内示があり、本年度工事着工が確定になったのです。建設計画は、県との協議で建築面積や工事費総額に少々変更がなされましたが、最終的に、五月開催された理事会で次のように決定されました。

【施設の名称】正式にはこぶし作業所芳賀分場ですが愛称として「けやき作業所」と命名しました。これは芳賀町の木から命名しました。

【入所者定員】十五名。施設の開所は来年四月ですが、入所希望の方は、早目に福祉事務所で相談してください。

【職員定数】三名。現在職員募集中です。けやき作業所には経験を積んだ職員と新採の若手職員を配置する予定です。

【敷地の状況】今回購入した土地一四五七平方メートル、更に隣接地八五一平方メートルを借地します。この借地は、将来買い取りを考えております。

【建物の構造・面積】鉄筋コンクリート造平家建て耐火構造。二六〇平方メートル(七九坪)。

【建設費】本体工事費、暖房設備工事費、浄化槽設備工事費(合併処理槽を設備)で計五、八八六万円、備品費(厨房機器など)が二五二万円、総計六、一三七万円です。

【財源】国庫補助金と県費補助金で三、三三二万円、芳賀町から一八〇万円補助金を頂くことになり、更に共同募金の配分金二〇〇万円を予定しておりますので差引二、三八五万円が自己資金となります。

【自己資金の調達】自己資金のうち二〇〇万円を借入金で充当しますが、法人の手持資金を加えてもまだ少々不足します。後援会では、多くの方々の建設についてご支援をお願いいたしております。

【工事請負契約】先の理事会において、この工事をお願いする建設会社を、佐野建設株式会社(鹿沼市)に決定いたしました。近く工事請負契約を締結する運びになります。

【工事予定期間】工事着工を八月中旬に予定しており、工事完成は来春二月末頃になると思われまます。

建物の南側はすべて入所者の利用する作業室、食堂、静養室とし、入所者が快適に生活できるよう配慮しました。また、車椅子の入所者のため入口をはじめ全館段差をなくし、ドアはすべり戸を多く設けました。窓も出来る限り広くとり、自然の採風、通風を取り入れるようにしました。

建設委員会では、今後更にけやき作業所がその名前のおり大きくたくましく育つよう、また障害者の皆として、明るく親しみやすい施設の実現に向けて頑張っていくつもりであります。

みんな明るくたくましく開所後のけやきの運営

けやき作業所は平成五年四月に開所します。入所者十五名、職員三名(その外所長がこぶし兼務)の家族的な集団として、明るくたくましくを合言葉に活動を展開していくつもりであります。運営計画の

あらまはは次のとおりです。

指導全般—本所(こぶし作業所)と共通な指導計画書により実施します。ただし分場独自の事項も付け加えることとなります。職員会議は分場でも持ちますが月一回本所と合同会議も開きます。けやき作業所入所者自治会をつくり、本所と連合自治会を結成します。

日課は、これまでのものと変りませんが、人数が少ないので臨機応変に進行させることになると思われまます。とにかく小回りがきくのが一番の利点です。

作業—けやきでの作業種目は、ベアリング組立作業とハーブ乾燥袋詰め作業を予定しています。特にハーブ作業は、敷地が人数に比して広いので能率的に取り組みむことが出来ると思われまます。収入も初年度からこぶしの水準を維持し、翌年度にはそれを超えることを

目標にしたいと思っております。

給食—週のうち半数はこぶしで調理したものを運び、残りの日はけやきで調理するよう計画します。また、外部の弁当も時には利用します。

送迎—ワゴン車一台を配置し、送迎コースを決めて実施します。送迎従事職員は三名が交替で行います。

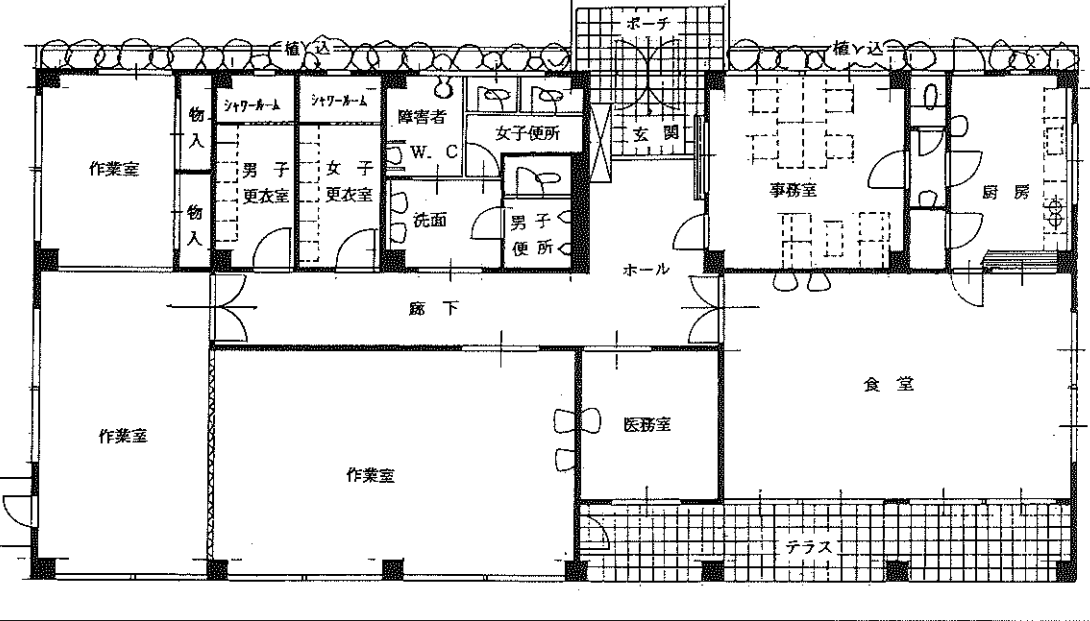
こぶしとの合同行事—宿泊訓練はこぶしと合同で行います。そのほか、親子旅行、キャンプ、スポーツ大会等は芳賀町を中心に関係者で相談し、方針を定め、多くの賛同者を募る予定であります。

自標にしたいと思っております。勿論、けやきでの独自の催物も企画します。

保護者会—けやき独自に設けますが、こぶしと連合組織もつくって一緒に活動します。けやきがより身近かなものになるので活動が充実したものになると思われまます。

後援会—さて、最後に後援会ですが、けやき作業所を地域で支援することが望ましいので、けやき作業所後援会の創設が考えられます。今後芳賀町を中心に関係者で相談し、方針を定め、多くの賛同者を募る予定であります。

こぶし作業所芳賀分場平面図



チャリティーダンスパーティー

三百人の華麗な踊りの輪が開く 益金はけやき作業所建設資金に

一月十九日、市貝町公民館において、第二こぶし作業所建設委員会の主催によりダンスパーティーが開かれ、三百人を越える参加者が軽やかなリズムに乗り、楽しいダンスを楽しみました。

このダンスパーティーは、今回が二回目です。第一回は昨年六月三十日、同じ会場で開催され、やはり三百人を超える参加者で賑わいました。ダンスパーティーの開催趣旨は、第二こぶし作業所(けやき作業所)と命名された)の建設資金を調達するもので、建設委員の永島さんが、ダンスに堪能でダンスパーティーのノウハウに詳しいことから、開催が提案され、建設委員会が主催で開催の運びになったものです。第一回の開催時には、果して千五百円の前売券が捌けるものか心配でしたが蓋をあけてみると予想以上の参加者に建設委員一同ほっとし、また、けやき作業所建設

の趣旨が多くの方に理解されたことと感激したものでした。会場の市貝公民館は、町の好意で無料でお借りしました。広々として、落ち着きのあるホールで、シャンデリアが輝き、冷暖房のよくきいたダンス会場として理想的な施設で、場所も、けやき作業所の建設地から二キロほどの所で、何と都合良かったです。

今回のパーティーは、六時半に開始され、華やかなバンドの調べに一齐に会場に踊りの花が開きました。中間で主催者の挨拶や抽選会があり、九時参加者は大いに満足した様子で帰って行かれました。

パーティーの益金は、二回とも五十万円を超え、建設の貴重な財源となりました。ダンスパーティーは、前売券の捌き先が限られているので、一部の建設委員に負担がかかり過ぎるようですが、今後とも経験を生かし、開催を続ける予定であります。



今年の仲間たちの活動

作業活動と自治活動を重点に

給料、ボーナスをふやすことが課題

新しい作業導入に張り切る

こぶしの仲間たちの給料は、現在、ボーナスも含め平均月五万円、本当に給料の名前に値しない低額なものです。しかし、仲間たちの作業収入から必要経費を差し引いた金額を充当してもこのような配分になるのが現実です。こぶし全体で仲間たちの重荷が軽減されており、作業能率の向上がなかなか期待できません。このようなかた、こぶしでは、少しでもいい職種を導入し、給料の引き上げを実現しようとしています。こぶしの仲間たちも、自分の給料をふやし、ボーナスを生みだすため、いろいろな努力を重ねております。

新たにハーブ作業が始まる

漢方薬の搾り粕を乾燥、袋詰めする

農耕班では、大豆やさつまいも栽培、かんびょうの袋詰め、プラスチックのリサイクル作業に取り組みました。そのうちリサイクル作業が発注会社の都合で途切れてしまいました。



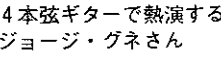
むし暑いハウスの中で原料を掻きまぜる

- 平成三年
- 12・8 法人理事会。役員改選、補正予算案の審議のほか分場建設計画を具体化する。
 - 12・10 ハーブ作業のビニールハウスをつくる。保護者の釜井さんの指導を頂く。
 - 12・11 13 宿泊訓練。仲間四名参加。
 - 12・23 クリスマス会兼忘年会。おなじみのボランティア18名も参加し賑やかに。保護者の会長の斉藤さんによく似たサンタクロースからプレゼントを貰い、二人羽織などの余興を楽しみました。最後に、市貝町の陶芸家(采日前アメリカでジャズシンガーだったという噂)ジョージ・グネさんが、独特の四本弦のギターを弾きながらクリスマスソングやアメリカ民謡、東京音頭まで続けざまに十数曲披露してくれ、会場は最高に盛り上りました。
 - 12・27 大掃除、12月の誕生会。
 - 12・28 1・5 冬期休業。
- 平成四年
- 1・6 新年会。仲間の何人かが今年の抱負を語り、言葉のない仲間も職員の手助けで欲しいもの、したい事を表明した。
 - 1・11 第11回分場建設委員会。

作業所日誌



- 1・17 成人の祝。永島博子、横山博志、嶋川倫行、見目考昭の四君が晴れて成人に。
- 1・19 チャリティ・ダンスパーティー(第2回目、才二こぶし建設委員会が主催)
- 1・22 124 宿泊訓練。仲間三名参加。
- 1・25 第12回分場建設委員会。
- 1・27 ハーブ作業開始。
- 1・31 司法修習生11名来所。仲間と作業や昼食を共にし、所長の施設説明をきく。
- 2・4 県の法人・施設指導検査。
- 2・6 ケグレスカスへ招待される。
- 2・10 シルバー大学(旧老人大学)のOB8名来所し、作業手伝やバザー商品の整理をして頂く。月に一回程度来所を頂く。
- 2・14 佐野建設(株)と分場設計で協議。
- 2・23 2月の日曜作業所。ボランティア等参加者が分場建設地を見学する。
- 2・26 分場整備国庫補助協議書を県に提出
- 3・8 第11回こぶしまつり。平石青年団と共催で毎年開催しているもので、今年も約二百人ほどの参加者で賑わいました。山菜



4本弦ギターで熱演するジョージ・グネさん

- 3・10 豊郷中の生徒さん、PTA役員の方五名来所し「車椅子を買ってください」と12万円の寄付をいただきました。豊郷中では三年前から、福祉に役立たせようと文化祭の益金をため、まとまった金額になったことから、一昨年の夏休みの三日間、福祉体験学習をしたこぶし作業所へ寄附することにしたそうです。有難うございました。
- 3・23 125 年度末総括会議(職員)
- 4・1 仲間の作業班所属の辞令交付式。
- 4・4 花見。喜連川の御丸公園へ。帰ってからは、仲間自治会役員選挙。今年度の自治会会長に小林正典君が選出された。
- 4・6 10 小滝孝行さん(南那須町)の奉

- 仕により、ハーブ乾燥小屋が完成する。
- 4・22 124 本年度才一回宿泊訓練。今年度から回数を増やし、月一回(一回が二泊三日、対象四人)実施することになった。
- 4・26 日曜作業所で買物訓練を行う。買物訓練は、今年度二カ月に一度実施予定。
- 5・1 1メーデー。宇都宮会場に仲間代表10名が職員2名と参加しデモ行進する。「年金額の引き上げを」などと訴えるプラカードは、なんとプラカードコンテストで銀賞を射止め、賞状と金一封を貰いました。
- 5・2 15 保護者会では、今年も益子陶器市にあわせ休憩所を設置、おにぎり、コーヒ、だんごなどを販売した。沢山の出入で用意したものを完売する。この益金は保護者会館(宿泊訓練や緊急一時宿泊にも利用する)の建設資金になります。
- 5・3 県愛護主催の作品展(足尾町)。
- 5・9 16 家庭訪問(担当指導員)
- 5・18 119 宇都宮内科病院で健康診断。
- 5・24 法人理事会。事業報告、決算、分場建設借入金、給与規程改訂などを審議。同日、仲間や職員、保護者、ボラ等74人で大東津海岸へ潮干狩。臨時列車で海へ直行。海では気分爽快、満足した一日でした。
- 6・8 19 今井良治(富屋養護)実習。
- 6・16 「和菓子の日」で菓菓子工業組合から嘉祥まんじゅうのプレゼント。

この作業の収益は、仕事軌道に乗れば、月五、六万円の加工賃が得られると思われる。仲間たちも少しずつ作業に慣れてきており、給料をふやすためにも、今後が大いに期待される所です。

新人が会長に当選
今年度から事業部を置く
入所者自治会活動

入所者自治会では、四月四日今年度の役員選挙の投票が行われました。投票に先立ち三日には立ち合い演説会が開かれ、選挙が盛り上りました。立候補メ切り日の朝までは六名の立候補で、定数どおりの間程度で仕上り、袋詰めしました。製品は新潟の飼料工場へ運送します。五月になって会社から乾燥機が貸与になり、これで雨天の時にも仕事ができるようになります。

今年度の役員には、会長に新人の小林正典君、副会長には永く会長を務めた直井信也君が当選し、そのほか役員に池田君、見目さん、床井さん、野中君が決まりました。全役員が自治会内で役割分担を決め張りきって活動しています。自治会の部活動では、いままでのレク部、喫茶部、衛生部に加え、今年度より新たに事業部を置くことになりました。事業部の活動は例年よりくんでいたカレンダー販売のほか、「共作連ふきん」を年間を通じて販売していくことになりました。共作連ふきんに

は全国共同作業連絡会に加盟する作業所の仲間たちが縫製したもので、丈夫で永持ちする評判の製品です。事業部の収益は、仲間たちのボーナス財源になるので、みんな真剣に活動しています。

直井信也君おめでとう、芳賀町福祉大会で表彰

こぶしの仲間の直井信也君が、芳賀町の福祉大会において町長さんから自立更生の模範として表彰されました。信也君の両親は二人とも病に倒れ、現在老人ホームに入所中ですが、兄弟も居らずしかも車椅子に頼って、一人ががんばって自分の生活を切り開いていることが立派だと町から認められたものです。

表彰の翌日、登所してくると早速表彰状をかざして、みんなに自慢していました。



第2こぶし作業所の建設資金募金趣意書